

2002 年 IEEE Kansai Section

**総会資料**

2002 年 2 月 18 日

IEEE Kansai Section

## 2002 年 IEEE Kansai Section 総会

- 1 . 日時： 2002 年 2 月 18 日 ( 月 ) 午後 3 時 00 分 ~ 5 時 00 分
- 2 . 場所： 住友ビル 11 階 住友電工 112 号会議室  
541-0041 大阪市中央区北浜 4-5-33
- 3 . 総会スケジュール
  - 1 . 支部長挨拶
  - 2 . 役員紹介
  - 3 . 2001 年活動報告および会計報告
  - 4 . 2002 年事業計画および予算案承認
  - 5 . IEEE Kansai Section Gold Award 授賞式  
<休憩>
  - 6 . IEEE Alexander Graham Bell Medal 受賞者紹介
  - 7 . IEEE Kansai Section Fellow 紹介及びスピーチ
  - 8 . 閉会の挨拶

### IEEE Kansai Section GOLD Award 受賞者

( 敬称略 )

近村 啓史 ( 京都大学 )

### IEEE Alexander Graham Bell Medal 受賞者

( 敬称略 )

中原 恒雄 ( 住友電気工業 )

### IEEE Kansai Section 新 Fellow 氏名

( アルファベット順、敬称略 )

石田 亨 ( 京都大学 )  
松澤 昭 ( 松下電器産業 )  
塩寄 忠 ( 奈良先端科学技術大学院大学 )  
鷺津 正夫 ( 京都大学 )

## I. 2001 年活動報告

### 1. 総会

2001 年 2 月 19 日 (月) に住友ビル 11 階住友電工 112 号会議室において、2001 年総会を実施した。

### 2. 役員会

第 1 回役員会 1 月 19 日 ティンダーボックス 研究センター 出席者：10 名

・ 2001 年総会 ・ 2001 年事業計画 ・ 2001 年各 Committee の事業計画

第 2 回役員会 2 月 19 日 住友ビル 出席者：11 名

・ 2001 年総会について

第 3 回役員会 4 月 19 日 ティンダーボックス 研究センター 出席者：7 名

・ Japan Council 理事会報告 ・ Region 10 meeting 報告

・ 計測自動制御学会関西支部シンポジウム協賛について

第 4 回役員会 9 月 10 日 ティンダーボックス 研究センター 出席者：10 名

・ Japan Council 会議報告 ・ 各 Committee 活動状況報告 ・ 会計中間報告

・ Region 10 からの連絡

第 5 回役員会 12 月 24 日 京都センチュリーホテル 出席者：11 名

・ Japan Council 理事会報告 ・ GOLD 賞の審査 ・ Fellow 推薦について

・ 各 Committee 2001 活動報告 & 2002 活動計画 ・ 決算および予算審議

### 3. 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、以下の支部主催講演会を実施した。

#### ・ 関西支部主催第 8 回技術講演会

日時：2001 年 2 月 9 日 (金) 14:00 ~ 15:30

場所：ATR 地下大会議室 (参加者 53 名)

題目：Developing and Evaluating Conversational Agents

講演者：Prof. Dominic W. Massaro

(Perceptual Science Laboratory, University of California, Santa Cruz)

#### ・ 関西支部主催第 9 回技術講演会

日時：2001 年 3 月 8 日 (木) 15:00 ~ 17:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室(参加者 68 名)

題目：Social Interactions with Information Technology

講演者：Dr. Byron Reeves

(Professor, Department of Communication Director;

Center for the Study of Language & Information at Stanford University)

- 関西支部主催第 10 回技術講演会  
 日時：2001 年 4 月 16 日（月）15:00 ~ 17:00  
 場所：大阪大学工学部電気系棟 E 6-1 1 2 （参加者 34 名）  
 題目：Algorithmic Complexity, Motion Estimation and a VLSI Architecture for  
 MPEG-4 Core Profile Video Codecs  
 講演者：Dr. Walter Stechele  
 (Director of Research at the Institute for Integrated Circuits at the  
 Technical University of Munich)
- 関西支部主催第 11 回技術講演会  
 日時：2001 年 10 月 17 日（水）15:00 ~ 16:30  
 場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室(参加者 47 名)  
 題目：Designing the Internet for a Networked Society  
 講演者：Prof. Barry Wellman (University of Toronto)
- 関西支部主催第 12 回技術講演会  
 日時：2001 年 10 月 17 日（水）10:30 ~ 11:30  
 場所：大阪大学 (吹田キャンパス) 先導的研究オープンセンター  
 (参加者 49 名)  
 題目：Molecular and Nanocircuits  
 講演者：Prof. Leon O. Chua (University of California, Berkeley)
- 関西支部主催第 13 回技術講演会（第 13 回 ~ 15 回はシリーズ講演会）  
 日時：2001 年 11 月 14 日（水）10:30 ~ 12:00  
 場所：京都大学工学部 10 号館 （参加者 40 名）  
 題目：Functions of the Interspace  
 講演者：Prof. Bruce R. Schatz  
 (University of Illinois at Urbana-Champaign , COMMUNITY  
 Architectures for Network Information SYSTEMS (CANIS)  
 LABORATORY)
- 関西支部主催第 14 回技術講演会  
 日時：2001 年 11 月 21 日（水）10:30 ~ 12:00  
 場所：京都大学工学部 10 号館 （参加者 33 名）  
 題目：Technologies of the Interspace  
 講演者：Prof. Bruce R. Schatz
- 関西支部主催第 15 回技術講演会  
 日時：2001 年 11 月 28 日（水）10:30 ~ 12:00  
 場所：京都大学工学部 10 号館 （参加者 40 名）

題目：Applications of the Interspace

講演者：Prof. Bruce R. Schatz

#### 4 . Region 10 Meeting

2001年4月6日(金)~7日(土)の日程でシンガポール Pan Pacific Hotel にて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より大山 Secretary/Treasurer が出席した。支部運営に関する Tutorial など Training Session が中心であった。なお、羽根田理事が Region 10 MDC Chair として参加・主催した。

#### 5 . 各 Committee 活動

##### a. Membership Development Committee

2001年10月11日に MDC meeting を開催し、会員増強のための施策を検討、以下のことを実施した。

- (1) 昨年同様、会員のメリットを宣伝することによって、IEEE への勧誘活動、並びに Senior Member への upgrade の推奨活動を進めた。さらに、会費滞納者に対して会費の納入、Affiliate に対して正会員への変更をそれぞれ促した。
- (2) 今後会員の獲得が期待できる組織の現会員から MDC 委員を新たに選出してもらうこととした。3組織を予定。
- (3) 会員増強ための目標値を設定し、長尾 Chair 名で 協力依頼状を各組織へ送付した。送付先宛名は、各組織の実情に合わせて最も効果的な方とした。

##### b. Nominations Committee

- (1) MDC と共同で Senior Member の拡大をはじめ、それに付随する学生員や正員の拡大活動を行った。特に、多数の学生員の登録が電子的に行われたので、極めて有効に学生員の拡大が図られた。
- (2) Fellow Nomination に関して、2001年も昨年同様に手続きを実施した。すなわち、関西支部内の現 Fellow に対し、新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部から推薦者7名を決定した。しかしながら、そのうち2名が辞退されたため、2001年は、関西支部からの Fellow 推薦者は5名であった。

c. Student Activities Committee

昨年に引き続き、学生会員の勧誘に努め、立命館大学、京都大学において、懸案の Student Branch の設立を果たした。詳細は以下の通り。

(1) 立命館大学

Branch Name : Ritsumeikan University Student Branch

Date of Establishment: 11 June 2001, Branch Code: 14261,

School Code: 14263,

Branch Counselor: Prof. Hironori Yamauchi (山内寛紀),

Branch Chair: Gaute Lambertsen (D3) (ゲーテ ラムバーセン)

(2) 京都大学

Branch Name : IEEE Student Branch at Kyoto University, Date of

Establishment: 24 October 2001, Branch Code: 05211, School Code: 05213

Branch Counselor: Prof. Yukihiro Nakamura (中村行宏),

Branch Chair: Keishi Chikamura (M2) (近村啓史)

これにより、関西支部配下には、既設の大阪大学に上記の2つを加えて、Student Branch が、3つそろったことになる。

d. Technical Program Committee

2000年と同様、講演会の開催を主たる活動とした。開催は年4回の予定であったが、役員・会員より積極的な提案があったため、最終的には年8回と当初予定の2倍の開催回数となった。これまで開催場所が、けいはんな地区 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所もしくはATR) 中心であった事を考慮し、大阪・京都などでの開催を積極的に企画・実施 (大阪2回、京都3回) した。また、同日に2カ所で開催 (第11回、12回) したり、シリーズ講演 (第13、14、15回) を行うなど、新しい試みを取り入れた。

e. Awards Committee

2000年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。 ニュースレターおよび関西支部インターネットを通じての公募を行い、当委員会による選定を行い、受賞者を支部役員会で決定した。

## 6 . Kansai Chapter 活動報告

### a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

昨年 1 月 17 日、2 月 13 日、4 月 24 日、6 月 8 日、6 月 15 日、10 月 2 日に京都において技術講演会を開催した。各セミナーとも海外国内の著名人を講師に招き、関西地区はもとより全国より学生や若手研究者を中心に多数の参加者を集め盛況のうちに終了した。なお、各講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

<http://vega.energy.kyoto-u.ac.jp/~eds/>

その他、11 月に東京で開催された国際会議 IWGI2001 に協賛し、多くのメンバーが講演を行い、またパネリストとして参加した。EDS Newsletter に活動成果を投稿し、4 月、7 月、11 月各号に記事掲載された。

### b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

昨年 6 月 11 日と 10 月 17 日に、京都において技術講演会を開催した。両セミナーとも国内外の著名人を講師に招き、関西地区だけでなく全国より多くの参加者(120 名および 76 名)を集め、盛況のうちに終了した。なお、講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

<http://sscs.kuee.kyoto-u.ac.jp/>

また 9 月に京都、神戸でそれぞれ開催された STARC Symposium、電子情報通信学会 ICD 研究会に協賛し、ICD 研究会においては Officer の一人である松澤が招待講演を行った。11 月に北九州で行われたシステム LSI ワークショップには、SSCS Japan Chapter とともに協賛し、大学からのポスター発表の優秀者に対して IEEE SSCS Japan Chapter 奨励賞を授与した。

## 7 . 協賛会議

- ・ 2001 年計測自動制御学会関西支部シンポジウム「計測と制御に見る 21 世紀の幕開け」

主催：計測自動制御学会関西支部

日時：2001 年 10 月 17 日(水)、18 日(木)

場所：ホテル アウィーナ大阪

- ・ SASIMI2001 (The Tenth Workshop on Synthesis and System Integration of Mixed Technologies)

日時：2001 年 10 月 18 日(木)、19 日(金)

場所：奈良県新公会堂

## II. 2001 年 IEEE Kansai Section 会計報告

### 1. 収入の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,724,483	
・ Section Assessment (IEEE 本部より)	3,503,404	3/27 に換金
同上	249,192	10/10 に換金
・ Section Rebate (同上)	962,613	5/24 に換金
同上	9,274	1/4 に換金
利子	516	普通預金利息
繰越金(2000 年からの)	633,679	
<b>合計</b>	<b>5,358,678</b>	

### 2. 支出の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,751,756	
・ Japan Council 拠出金	3,751,756	Section Assessment より振り込み手数料 (840 円)を差し引いて送付
会合・AWARD 費	500,117	
・ 総会費	42,047	会場費、資料代など 謝金
・ 講演会	150,000	
・ 役員会費	149,135	
・ Committee 会合費	128,085	
・ Award 費	30,850	
事務経費	37,094	
・ 通信費	3,730	
・ 事務用品費	3,864	
・ 旅費	29,500	
雑費	3,885	換金手数料等
<b>合計</b>	<b>4,292,852</b>	



### III 関西支部会員数

#### 1. グレード別会員数

2001.12.31 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	16
Fellow	F	44
Life Senior Member	LS	10
Senior Member	SM	98
Pending Senior Member	PS	0
Life Member	LM	26
Member	M	1,095
Pending Member	PM	16
Life Associate	LA	1
Associate	A	199
Student	S	196
Total		1,701

#### 2. ソサイエティ別会員数

2001.12.31 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	150
Broadcast Technology	BT-02	17
Antennas and Propagation	AP-03	74
Circuits and Systems	CAS-04	178
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	86
Vehicular Technology	VT-06	44
Reliability	R-07	19
Consumer Electronics	CE-08	32
Instrumentation and Measurement	IM-09	31
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	16
Information Technology	IT-12	63
Industrial Electronics	IE-13	54
Engineering Management	EM-14	20
Electron Devices	ED-15	200

Computer	C-16	455
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	146
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	58
Communications	COM-19	258
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	28
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	37
Oceanic Engineering	OE-22	11
Control Systems	CS-23	115
Robotics and Automation	RA-24	78
Education	E-25	17
Professional Communication	PC-26	4
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	32
System, Man and Cybernetics	SMC-28	98
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	19
Social Implications of Technology	SIT-30	3
Power Engineering	PE-31	74
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	19
Magnetics	MAG-33	45
Industry Applications	IA-34	47
Power Electronics	PEL-35	40
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	123
Solid-State Circuits	SSC-37	155
Total		2,846

## IV. 2002 年 IEEE Kansai Section 役員

### Section Officers

Chair: 長尾 真 (京都大学)  
Vice Chair: 石井 健一郎 (日本電信電話)  
Secretary/Treasurer: 大山 芳史 (日本電信電話)

### 理事

小山 正樹 (奈良先端科学技術大学院大学)  
白川 功 (大阪大学)  
中村 行宏 (京都大学)  
中津 良平 (国際電気通信基礎技術研究所)  
羽根田博正 (神戸大学)

### 理事・Past Officers

Past Chair: 中原 恒雄 (住友電気工業)  
Past Vice Chair: 池田 博昌 (東京情報大学)  
Past Secretary/Treasurer: 山本 幹 (大阪大学)

### Committee Officers

#### a. Membership Development Committee :

Chair: 小山 正樹 (奈良先端科学技術大学院大学)  
Secretary: 前田 英作 (日本電信電話)  
Member: 勝川 保 (住友電気工業)  
神戸 尚志 (シャープ)  
瀬恒 謙太郎 (松下電器産業)  
武田 捷一 (三菱電機)  
武田 洋次 (大阪府立大学)  
田中 初一 (神戸大学)  
中村 進 (オムロン)  
橋本 正弘 (大阪電気通信大学)  
長谷川 泰三 (関西電力)  
東田 正信 (国際電気通信基礎技術研究所)  
藤田 智弘 (立命館大学)  
藤原 値賀人 (大阪市立大学)  
松平 盛夫 (三洋電機)  
山本 裕 (京都大学)

b. Nominations Committee :

Chair: 白川 功 (大阪大学)  
Member: 大西 良一 (三菱電機)  
奥村 浩士 (京都大学)  
河田 亨 (シャープ)  
櫛木 好明 (松下電器産業)  
菅原 良孝 (関西電力)  
羽根田博正 (神戸大学)  
吉田 健一 (住友電気工業)

c. Student Activities Committee :

Chair: 中村 行宏 (京都大学)  
Member: 小野寺秀俊 (京都大学)  
瀧 和男 (神戸大学)  
松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学)  
村田 正幸 (大阪大学)  
柳田 益造 (同志社大学)  
山内 寛紀 (立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair: 中津 良平 (国際電気通信基礎技術研究所)  
Vice Chair: 北村 喜文 (大阪大学)  
Secretary: 間瀬 健二 (ATR メディア情報科学研究所)

e. Awards Committee :

Chair: 羽根田博正 (神戸大学)  
Member: 井上 克巳 (神戸大学)  
黒江 康明 (京都工芸繊維大学)  
松山 隆司 (京都大学)  
宮原 秀夫 (大阪大学)  
山内 寛紀 (立命館大学)  
山崎 宏之 (三菱電機)  
吉田 健一 (住友電気工業)

## V . 2002 年 Kansai Chapter Officers

EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter :

Chair:	野澤 博 (京都大学)
Vice Chair :	数村 勝 (松下電器産業)
Secretary:	山本 靖 (京都大学)
Treasurer:	大槻 達男 (松下電器産業)

SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter: :

Chair:	小野寺 秀俊 (京都大学)
Vice Chair :	中屋 雅夫 (三菱電機)
Secretary:	小林 和淑 (京都大学)
Treasurer:	松澤 昭 (松下電器産業)

## VI. 2002 年 IEEE Kansai Section 事業計画

### 1 . 総会

2002 年 2 月 18 日 (月) 15:00 ~ 17:00 の予定で、2002 年定例総会を実施する。

### 2 . 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、講演会を実施する。現在以下の講演会の実施が決定している。

#### ・関西支部主催第 16 回技術講演会

日時：2002 年 1 月 30 日 (水) 1:10-3:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所

題目：The early history of computer music at Bell Labs from 1957 to 1970

講演者：Prof. Max Mathews (CCRMA--Stanford University)

### 3 . 役員会

第 1 回役員会 1 月 16 日 デジタルアーカイブ研究センター

・2002 年総会 ・2002 年事業計画 ・2002 年各 Committee の事業計画

第 2 回役員会 2 月 18 日 住友ビル

・2002 年総会について

2002 年中に、さらに数回の役員会を開催する予定である。

#### 4 . 関西支部 Gold Award

2001 年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

#### 5 . 各 Committee 活動

##### a. Membership Development Committee

2001 年の活動方針を継続し、以下の取り組みを実施する。

##### (1) 会員数の増強

2001 年に設定した数値目標の達成に向けて、SAC とも協力しつつ新規会員の勧誘に努める。

##### (2) Senior Member への upgrade 推進

upgrade 候補者に対して個別に申請を促すとともに、そのサポート体制の充実等を図る。

##### b. Nominations Committee

(1) 2001 年と同様に、Membership Development Committee と共同して Senior Member だけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。

(2) Fellow 候補者をできるだけ多く Nominate する。Fellow Nomination に関して、2001 年と同一手順で実行の予定。そのために、まず、正確な Senior Member のデータを作成する。

##### c. Student Activities Committee

##### (1) Student Branch の設立

昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。既設の大阪大学、立命館大学、京都大学に加え、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学を対象に Student Branch の設立を目指す。

##### (2) 学生を対象としたイベント企画

学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。

なお、立命館大学の Student Branch は Mentor に村田博幸氏 (松下電器産業)を迎え、以下の体制により運営する。

Counselor:	山内 寛紀
Mentor:	村田 博幸 (松下電器産業)
Chair:	今井 哲也 (博士 3 回生)
Vice-Chair:	Oraya Sawettanusorn (修士 1 回生)
Treasurer:	岩田 悠貴 (修士 2 回生)
Secretary:	千田 康隆 (修士 2 回生)

また、京都大学の Student Branch は、Mentor に中津良平氏(ATR)を迎え、以下の新体制により運営する。

Counselor:	中村 行宏
Mentor:	中津 良平 (ATR)
Chair:	筒井 弘 (博士 1 回生)
Vice-Chair:	山本 啓史 (修士 2 回生)
Treasurer:	岡本 卓也 (修士 2 回生)
Secretary:	増崎 隆彦 (修士 2 回生)

#### d. Technical Program Committee

2001 年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。開催回数は 2001 年を基準に同等程度の開催を計画する。2001 年に取り組んだ、シリーズ物の講演会の開催、大阪・京都地区での講演会の開催などは今後も引き続き取り組んでいく。さらに、会員からの講演会の提案、他の Section との共催、IEEE Distinguished Lecturer による講演会の開催等の新しい施策に取り組む。なお、添付資料(p.20)に、「技術講演会企画実施要領」を示す。

#### e. Awards Committee

2001 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の活性化を図る。その他、2001 年に計画を試みた中長期的な視点での新企画の検討を引き続き行う。

## 6 . Kansai Chapter 活動計画

### a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

今年も技術講演会を中心として積極的に活動を展開する。すでに 1 月 16 日に、関西コロキアル電子デバイスワークショップを開催し、本 Chapter Award Committee により MFSK Award 受賞者を選定した。年間の計画としては、4 月、7 月、9 月、10 月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名な電子デバイス関連の研究者を招く予定である。また、2003 年主催予定の国際会議開催に向け準備をすすめるとともに、関西地区で開催される国際会議にも積極的に協賛し、引き続き会員獲得につとめていく計画である。

b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2002 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。昨年同様、6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、海外より Distinguished Lecturer もしくはそれに準ずる研究者と国内から著名な VLSI 設計関連の技術者を招く予定である。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。

7. 協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。現在以下の協賛会議の実施が決定している。

(1) 市民公開講座

タイトル：バーチャルリアリティとコミュニケーションの未来

日時：2002 年 3 月 16 日

場所：キャンパスプラザ京都

主催：日本バーチャルリアリティ学会

電子情報学会ヒューマンコミュニケーショングループ

<http://www.ime.cmc.osaka-u.ac.jp/~takemura/kouza/>

(2) ICAD2002 (International Conference on Auditory Display)

日時: July 2nd, 2002 - July 5th, 2002

場所: ATR

<http://www.mic.atr.co.jp/icad2002>

(3) ISSS2002 ( 15th International Symposium on System Synthesis )

日時: Oct. 2nd, 2002 - Oct. 4th, 2002

場所: Kyoto Royal Hotel (京都ロイヤルホテル)

<http://www.iss-symposium.com>



## VII. 2002 年 IEEE Kansai Section 予算

### 収入の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,548,930	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	798,930	・ (補足)の計算式で現状の会員数 1701、110 円/\$で計算 ・ 2001 年実績で計算
・ Section Assessment (同上)	3,750,000	
繰越金	1,065,826	
合計	5,614,756	

(補足)

Rebate 内訳  $\$1,800 + \$3 \times (\text{会員数}) + \$180 \times (\text{Chapter 数})$

- ・ \$1,800 は各 section 一律配分
- ・ 会員数のカウントには全 grade の会員が相当
- ・ Chapter 数 = 2

### 支出の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,789,600	
	3,750,000 39,600	Japan Council 拠出金 Chapter へ ( $\$180 \times 2$ )
会合・AWARD 費	780,000	
・ 総会費	100,000	会場費、資料代など 謝金など
・ 講演会	150,000	
・ 役員会費	250,000	
・ Committee 会合費	250,000	
・ Award 費	30,000	
事務経費	186,000	
・ 通信費	60,000	(Internet 経費を含む)
・ 事務用品費	6,000	
・ 旅費	120,000	
雑費	859,156	円ドル換金レート変動吸収分を含む。
合計	5,614,756	

## VIII. 関西支部 Bylaws

### IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

#### ARTICLE I --- Name and Territory

##### Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

##### Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

#### ARTICLE II --- Officers

##### Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

##### Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

##### Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

##### Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

#### ARTICLE III --- Standing Committee

##### Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee

- Awards Committee

#### Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

#### Section 3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

#### Section 4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

### ARTICLE IV --- Management

#### Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

Standing Committee Chairs

representatives of Chapters,

such other members appointed by the Section Executive Committee,

and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

#### Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

#### Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

#### Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

#### Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

### ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

#### Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be

appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

#### Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

#### Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

#### Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

#### Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

### ARTICLE VI --- Business Meeting

#### Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

### ARTICLE VII --- Finances

#### Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

#### Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

#### Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

### ARTICLE VIII --- Amendments

#### Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

#### Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

(添付資料)

## IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部  
Technical Program Committee

### 1. 受付け、承認の手続き

- (1) 受付け：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいて TPC (Technical Program Committee) に提案する。  
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
- ・講演者氏名、所属
  - ・講演予定日時、場所
  - ・講演予定内容 (タイトル、アブストラクト) (英文可, 200-300words)
  - ・講演者略歴 (英文可, 100-300words)
  - ・IEEE 会員へのメリット (会員への講演の関連性、推薦のことば)
  - ・推薦者氏名、所属、(IEEE 関西支部役職)
  - ・担当者氏名・連絡先 (tel, fax, e-mail)
  - ・共催とする場合の共催組織名
- (2) 承認：
- (i) TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。  
(ii) IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。
- (3) 企画：支部で OK ができれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。
- (4) 案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布 (東京支部) を依頼する。
- (5) 参加受付け：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。
- (6) 会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付けスタッフを出す。
- (7) 当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは (共催先と相談して) 柔軟に運用、なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す。  
参加者には名簿に記入していただく。(参加者数の把握とデータベース化)
- (8) 費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す(3 万円)。  
ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。
- (9) 事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

### 2. Technical Program Committee Member

Chair:	中津 良平 (国際電気通信基礎技術研究所 nakatsu@atr.co.jp)
Vice Chair:	北村 喜文 (大阪大学 kitamura@eie.eng.osaka-u.ac.jp)
Secretary:	間瀬 健二 (ATR メディア情報科学研究所 mase@atr.co.jp)

**2002 年 IEEE 関西支部連絡先**

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 2-4  
N T T コミュニケーション科学基礎研究所  
社会情報研究部 内

TEL : 0774-93-5308 FAX : 0774-93-5305

e-mail: [ieee-ks@cslab.kecl.ntt.co.jp](mailto:ieee-ks@cslab.kecl.ntt.co.jp)

Web URL: <http://www.kecl.ntt.co.jp/ieee-kansai/>